



月報 幸中タイムズ

令和7年6月17日（火）

第189号

幸田町立幸田中学校・発行

あきらめないで どんな時も

教 頭 松 井 亮

先日福井県で行われた野外音楽フェスティバルで、3人組ロックバンド、サンボマスターのステージを観ました。「できっこないを やらなくちゃ」という楽曲では、地元福井商業高校のチアリーダー部の生徒がステージに登場し、楽曲に合わせたチアダンスで共演しました。「あきらめないでどんな時も 君なら出来るんだどんな事も」というサビの力強い歌詞を聴くと、また明日も頑張ろうという思いが高まります。私にとっての応援歌と言ってもよい楽曲です。

大学生の頃、一緒に演劇サークルに入っていた友人が突如、「俺はミュージカルがやりたい、劇団四季に入る」と宣言しました。彼は歌こそ上手だったものの、身体が硬く、ミュージカルのダンスのイメージとは程遠い身のこなしをしていました。私は「おお、すごいな。頑張れよ」とエールを送りながらも、さすがに難しいのではないかと考えていました。

そこから彼はアルバイトを増やし、大学とは別にダンスと歌の学校に通うための費用を工面しました。一日のアルバイトを終えると私たちの稽古場に顔を出し、歌の練習に励みました。私たちが声を掛けると、「ちょっと聴いてもらえるか」と、練習している歌を披露してくれました。過密なスケジュールに身体を壊して入院したこともありましたが、しかし、半年、1年と時が経つにつれ、彼の歌声や身のこなしが明らかに変わっていくのが分かりました。そして、2年が経ったころ、彼は見事にオーディションを突破し、劇団四季に入団したのです。「劇団四季に入る」と言い切り、夢を叶えた彼の頑張りに、ただただ感心するばかりでした。

ところが、彼は数年で劇団四季を辞め、今度は「弁護士になる」と言い出したのです。私は、あれだけがんばって入ったのにどうして、と驚きつつも、きっと彼は成し遂げるだろうと思いました。はたして数年後、彼は見事司法試験に合格し、弁護士になりました。彼と大学生活を過ごしたことで、私は「あきらめなければ、人は、何にでもなれる」という考えをもつに至りました。

とは言え、スポーツの試合で力を尽くしても大差をつけられたとき、志望校に合格するために努力していてもなかなか結果に結びつかないとき、つい、もうだめかな、とってしまうこともあるでしょう。それでも最後まであきらめない気持ちをもち続けるには、どうしたらよいのでしょうか。

私は「日常を大切にすること」に大きなヒントがあると考えています。規則正しく日常を過ごすことは、心を安定させ、落ち着いて生活することにつながります。誰も見ていないと、これぐらいならいいかと楽な方向へ流されてしまいがちです。しかし、そこで流されない、手を抜かないという意志が、自分自身を少しずつ鍛えていくのだと思います。集団であれば、仲間とともに励まし合いながら日常を継続し、お互いの心を鍛えていくことが、それに当てはまるのではないかと考えます。

部活動の夏の大会やコンクールが間近に迫っています。また、2学期にはクラスで力を合わせる合唱コンクールがあります。受験やテストなど、自分の学力が試される機会もあります。苦しい時期もきっとあるでしょうが、日常の生活を大切に積み重ねていくことで心の不安を取り払い、あきらめない気持ちをもち続けてくれることを願っています。頑張れ、幸中生！

校内体育大会

令和7年5月29日（木）

5月実施にして2年目。幸い天候にも恵まれ、気持ちよく精一杯体を動かすことができました。「学級アピール大合戦」では、各クラスの「級訓」をテーマにした、アイデアに富んだ演技を披露しました。

3年

学級アピール大合戦で、僕たちはハカをやりました。6時間目やKFTを使って何度も練習して、リハーサルでは思うようなハカはできなかったけど、その反省を生かして、本番ではそれまで以上のハカを披露することができたと思いました。5組が優勝と呼ばれたときは、久しぶりに全力で喜んだような気がしました。ハカを通して僕はクラスみんなの絆が深まったと思いました。毎日練習してきたからこそ見えた課題もあり、本番直前までそこを中心に練習してきたからつかみ取れた優勝なので、とても意味がある優勝だと思いました。

3年

私はハンデリレーの二人三脚に初めて出場しました。ペアの子は今年知り合ったばかりで、初めのうちは苦労しましたが、練習を重ねてだんだんとよくなりました。ところが、最後の練習日のとき転んでしまい、そこから練習の機会がなかったので、スタートするまでずっと不安で緊張していました。さらに、私たちのペアはアンカーだったので、怖くて仕方がありませんでした。しかし、自分たちの前に走る仲間たちを見て、いつの間にか緊張は解け、楽しく走れました。そして初めてゴールテープを切ることができました。仲間と一番をとれたことが嬉しくて、ゴールしたあと仲間とハイタッチをしました。テントに戻ると「よかったよ」「速かった」とリレーを見守ってくれた他の仲間たちが迎えてくれました。この体育大会で一生忘れられない思い出を作ることができました。



2年

学級アピール大合戦では、アピールの内容を決める際に、最初はあまり意見が出てきませんでした。ですが、日が経つにつれて、意見が言いやすい場になっていき、自分たちの個性が意見として出ていると感じました。このことからどんどんクラスがよい方向に向かっているなと思いました。

本番では、これまでの練習で工夫してきたことを思い出し、今までで一番よいアピールができたと思います。このみんなで努力した時間を忘れずに、合唱コンクール、3年生を送る会などの行事を、みんなでやっていきたいです。

2年

練習の始めでは、あまりやったことがないラップやダンスなど、ばたばたしていて、リーダーとして不安を感じていました。しかし、本番が近付くにつれて、みんながこのアピールに対して意見を言い合うことができ、大きな声のラップ、大きな振り付けのたけのこダンスに仕上がっていき、どんどんよいアピールが出来上がっていく感じがしました。

結果は優勝できなくて悔しかったけど、アピールを通して、みんなと協力したり、意見を言い合ったりしたことはすごくよかったので、これからの生活に生かして、よい一年を過ごしたいと思いました。



1年

ぼくは100m走と幸中リレーの種目に出ました。100m走では、スタートで少し遅れてしまったけれど、何も考えずに無我夢中でゴールまで走り切りました。幸中リレーでは、2番目に走り、最初少し抜かれたけれど抜き返して1位にすることができました。走り終わってからはドキドキしながら応援しました。1位を取ることができてうれしかったです。

1年

学級アピールでは、大きい声とダンスを特に意識して頑張りました。練習では、ダンスの向きがそろわず、とても苦戦しました。しかし本番では一体感のあるダンスを見せることができたと思います。結果は優勝できなくて、とても悔しかったけれど、全員でやり切ったし、このすばらしいアピールをできてとてもうれしかったです。これからもよいクラスにしていくために頑張ります。



各競技種目優勝者・クラス

100m走

1年

2年

3年

1000m走・1500m走

1年

2年

3年

80mハードル走

1年

2年

3年

走り幅跳び

1年

2年

3年

走り高跳び（2・3年生のみ）

2年

3年

ハンドボール投げ

1年

2年

3年

ハンデリレー

1年5組

2年3組

3年1組

幸中リレー

1年1組

2年5組

3年3組

競技総合

1年1組

2年3組

3年1組

学級アピール大合戦

1年5組

2年1組

3年5組



1年生学年の日

令和7年5月16日（金）

私の一番心に残った時間は KouFes の時間です。幸田中学校の校歌を学年で歌い合って「真の愛校家」を決めるためにクラスで頑張りました。2組は3番手でした。ドキドキで心臓がバクバクでした。自分の番が来たときは緊張してしまいましたが、「音程が合っていたで賞」を取ることができました。うれしかったです。最後に学年で歌った校歌は大きく響き渡っていました。（1-2）

学年の日では、まずはレク係の人に感謝したいです。レク係の人に「自分達もやりたいと思わなかったの？」と聞くと、「みんなのために動けてよかったよ」と言っていて、他の係の人もそうだけど、特にすごいなと思いました。みんなが全力で取り組んでいる姿はかっこいいし、何より中学生らしいなと感じた学年の日になりました。（1-4）



1年生 学年の日
学年集合写真

＊＊顕彰記録＊＊

『幸田町中学校春季体育大会』

【団体成績】

○ソフトボール部	優 勝
○ソフトテニス部男子	優 勝
○バレーボール部男子	優 勝
○バスケットボール部男子	優 勝

【個人成績】

○ソフトテニス部男子	優 勝 第2位
○ソフトテニス部女子	優 勝 第2位
○弓道部女子	第2位
○剣道部女子	第2位

<令和6年度岡崎市民卓球ダブルス大会>
中学生男子の部 第5位

<第7回東愛知中学生弓道大会>
男子団体 準優勝

<第65回岡崎市民剣道大会 中学生1、2年女子の部>
女子個人 第3位

<第69回岡崎市中学校総合体育大会（弓道）>
女子団体 第3位

<第45回全三河卓球大会>
男子の部 優 勝
第3位

<第76回岡崎・幸田市民中学校ソフトテニス選手権大会>
女子の部 第3位

<東浦スポーツ祭中学生バレーボール大会>
男子の部 優勝

<令和7年度豊川閣主催中学生ソフトボール大会>
第2位

